

SDGs推進事業・地球分野 応援:金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附

事業名 ▶ 日高市、その周辺における里川、里山の保全活動

法人名 ▶ 特定非営利活動法人奥武蔵ピースラボ



活動内容

私たちは、日高市を中心として主に環境保全活動と平和維持活動を実施するNPO法人です。環境保全活動は、主に里山での活動と里川での活動に分けられ、平和維持活動では、戦争体験記の保存事業を実施しています。

事業取組

今回の助成金では、環境保全の活動を実施いたしました。
①里山での活動
里山の整備、シガラ作りWSの開催、トレイルカメラによる野生動物の調査観察、日本ミツバチの巣箱の整備、清掃、ひ・まわり探検隊での「ハチ宿」作成
②里川での活動
ガサガサによる高麗川の水生生物調査、高麗川のリバーコーミング、ひ・まわり探検隊での「ガサガサ体験」、子どもたちを対象としたピストン釣り体験、高麗川、湧水の水質調査

事業成果

里山の活動では、ナラ枯れ防止の効果や、日本ミツバチの保全に活動の効果が見られました。里川の活動では、地域の子どもたちと共に貴重な高麗川の自然を体験することができました。この活動は、今後も継続して実施したいです。

総事業費

501,563 円

助成額

484,000 円

SDGs推進事業・地球分野 応援:株式会社ソニックフロー

事業名 ▶ 子どもたちに犬の適正飼養を伝え、保護犬のいない世界を作る啓もう活動

法人名 ▶ 特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー



活動内容

不遇にも人の身勝手に殺処分される犬を1頭でも多く救いたいという想いから、千葉、埼玉、東京、神奈川、茨城の動物愛護センターより犬を引き取り新しいご家族様に命を繋ぐ活動を行っています。

事業取組

令和4年度の犬の殺処分数は約2,434頭。「飼えなくなった」「アレルギーが出た」など人間の都合で捨てられる犬たちを、我々保護団体がレスキューしてきましたが、保護犬が生じる原因の一つが、適正飼養されないことにあると考えています。学校でのワークショップやイベントでのパネル展示等を通じて中高生、大人まで幅広い世代に犬の適正飼養を考えてもらい、動物と人間の共生社会をつくることを伝える啓もう活動を実施しました。

事業成果

保護犬とのふれあいと、グループワークを組み合わせたワークショップでは、小学校低学年の子も高学年の子と一緒に犬の命について考えることができました。次年度は夏休みの自由研究につながる企画に進化させていきたいと考えています。

総事業費

560,393 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・地球分野 応援:金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附

事業名 ▶ 水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと広報活動

法人名 ▶ 特定非営利活動法人百年の森づくりの会



活動内容

2000年に任意団体として設立し、その後法人化したNPO法人です。「水を育む山への恩返し」をコンセプトに、秩父を中心に水源林を守る活動をしています。広葉樹約7,000本の植樹、森や秩父に関する講演会や子ども達の森林体験会を開催しています。

事業取組

荒川最大の水源林を有する和名倉山では、植林地の見守りと同時に残置カメラで生態系のデータを収集しました。
長瀬宝登山では、花咲く森づくりのため植林したサクラ、ツツジ類の下草刈りを実施しました。
三峯神社に近い旧大滝小学校三峰分校で子供達の宿泊型の森林体験学習会を実施しました。
さいたま市見沼たんぼの首都高ビオトープで見学と生態系保全活動を実施しました。
これらの活動を広報誌やホームページに掲載しました。

事業成果

和名倉山や宝登山を中心に植えた苗の生長を見守りながら、鹿害防止や下草刈りの作業を続け、百年のスパンで森づくりを継続すると共に、次世代へのバトンタッチで子ども達の森林体験も充実させたいです。

総事業費

535,649 円

助成額

482,000 円

SDGs推進事業・地球分野 応援:株式会社富士薬品

事業名 ▶ 太陽エネルギーの理解と太陽光で動くロボット工作教室

法人名 ▶ 特定非営利活動法人くまがやおもちゃ病院



活動内容

2018年6月にくまがやおもちゃ病院として活動を開始し、2024年1月に特定非営利活動法人となりました。「おもちゃの修理」や「工作教室、実験教室」などの活動で、ものを大切にするこころの醸成、ものづくりの楽しみ・科学に対する興味関心の醸成を目的としています。

事業取組

光エネルギーが電気エネルギーに変わり、運動エネルギーになることを体験し、エネルギー変換について、工作を通して学びました。
小型太陽光パネルを用い、光エネルギーがどのようなものかを学び、発電について体験しました。光エネルギーで動くバタ型ロボットを組み立てて、太陽電池、モーター、機械的構造の動作機構等を理解しました。室内で仕上がったロボットで照明を利用して競争し、結果として得られる違いについて考察しました。

事業成果

夏と冬の2回の開催で、参加者は小学生親子対象24組でした。アンケート結果から、全般的に充実した機会となり、目的とした到達点をに達することができました。今後も継続した取組を検討しています。

総事業費

224,781 円

助成額

200,000 円